

Q. グループホームの公募を透明化に

A. 公開するかは委員会の意見で決定したい



村井 慶太郎 議員

問 今回もグループホームの公募があるが、決定方法がまったく不透明だ。

伊予市では、公募の採点から決定まで公開となり、かなりの傍聴人が見守っていた。

これこそクリーンだと感じた。それに対して本町の公募、決定方法は不透明過ぎると取りざたされている。

「見える、わかる、クリーン」が信条なら今後の公募、決定方法を考え直すべきではないのか。

答

保健福祉部長

事業所の選定は、介護保険事業運営委員会において、設置主体の適格性、施設の運営方針や整備方針なども総合的に審査した上で、事業所の決定を行っている。

地域密着型施設の整備は、公正な事業所指定を行っているが、第5期事業計画における整備事業者の選定は、今後、運営

委員会を公開とすることでうか、その開催方法などを、委員の意見で決定したいと考えている。

問 タウンミーティングのありかたは

各区長、副区長などから要望や陳情的なものを聞くと思うが、要望に対して達成したものはあるのか。

答 基本的には意見交換の場である

町長

地域にとって対応がすぐできるものについては当然対応していく。

これからもこういう場を使ってぜひ住民の皆さんの考えも聞き、また私なりに考えていることを申し上げるといいう意味では意義がある。

要望があれば、今後も続けていきたい。

問 今後の防災対策のビジョンは

防災道路として位置づけしていた西古泉筒井線の今後の計画は。また、地権者との交渉は。その他の地区の防災道路計画はあるのか。今後の防災対策のビジョンは具体的にどのようなものか。

答 地域防災計画を見直す

産業建設部長

住民の避難のための道路は、今後、地域防災計画を見直すなかで、どういった避難路がいいのかということも含めて具体的に考えていく。



防災道路計画はどうなったの？

その他の質問

- ◎ 企業誘致について
- ◎ 公共事業について